

アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

 保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)
 保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

2014年度 特別勘定の現況 (世界分散型3ODI)

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
 さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。


ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/>お問い合わせ先 **0120-375-193**

<受付時間> 月～金 9:00～19:00

土 9:00～17:00

(日・祝日、年末年始の当社休業日を除く)

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 

【利用する投資信託の委託会社】DIAMアセットマネジメント株式会社

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(■契約概要、■注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の現況（2014年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2014年4月～2015年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、大幅に上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+28.28%上昇の1,543.11ポイント(前期末は1,202.89ポイント)で終了しました。今期前半は、日銀が金融政策を現状維持にとどめたことなどから下落した後は、米国の堅調な経済統計などを背景に上昇基調で推移しました。今期後半は、世界経済の先行き不安などから下落した後は、日銀やECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和や企業業績の改善などを背景に、大幅に上昇して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、円安による業績拡大期待が高まった「化学」(前期末比+46.40%)が最も上昇した一方、原油価格の大幅下落を受けて「石油・石炭製品」(同△0.24%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+8.01%上昇の17,776.12ドル(前期末は16,457.66ドル)で終了しました。今期前半は、ウクライナや中東における地政学リスクの高まりなどから下落する場面もありましたが、経済指標の改善などから、上昇基調で推移しました。今期後半は、世界経済の先行き不安などから大きく下落した後、共和党が両院を制してねじれ議会が解消したことなどにより反発しましたが、その後は利上げ観測を巡り揉み合いながら推移して、今期を終えました。
 欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、今期後半は、ECBによる追加金融緩和や、ギリシャへの金融支援延長合意などから、特に仏・独株式市場では大幅に上昇し、堅調に推移して、今期を終えました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.65%上昇、仏CAC40は同+14.62%上昇、独DAXは同+25.22%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が低下しました。新発10年国債利回りは0.40%となりました(前期末は0.64%)。
 今期前半は、株高・円安などを受けて、金利は上昇(価格は下落)する場面もありましたが、欧米の長期金利の低下や、国債需給の逼迫が意識されたことなどから、低下(価格は上昇)基調で推移しました。今期後半は、日銀の強力な金融緩和姿勢などを受けて、大幅に低下した後、堅調な株高などから上昇しましたが、米国の利上げ観測や国債入札結果などを巡り、揉み合いで推移して、今期を終えました。
 日本銀行は10月末にマネタリーベース増加額の拡大を決定し、年間約80兆円(約10～20兆円増加)に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

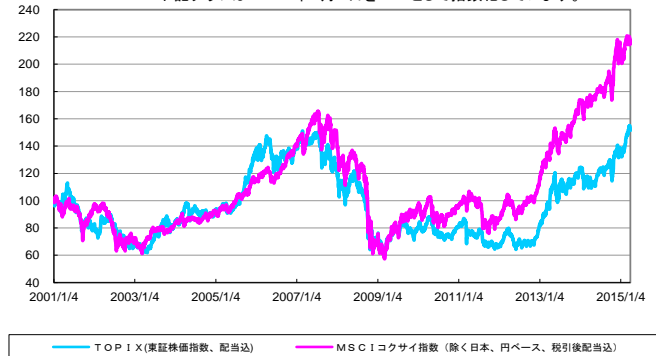
米国債券市場は、金利が大幅に低下しました。米10年国債利回りは1.92%となりました(前期末は2.72%)。今期前半は、経済指標の改善や地政学リスクの高まりなどから、揉み合いで推移しました。今期後半は、原油価格の下落やECBの追加金融緩和などを受けて、大幅に低下した後、好調な株式市場などから上昇しましたが、FOMC(米連邦公開市場委員会)の結果を受けて、利上げペースが緩やかとなる可能性が意識されたことなどから、低下基調で推移して、今期を終えました。
 欧州債券市場は、金利が大幅に低下しました。独10年国債利回りは0.18%となりました(前期末は1.57%)。地政学リスクの高まりや、スイス中央銀行によるスイス・フラン上限撤廃、ECBの資産買入れ開始などを受け、期を通して低下基調で推移しました。
 FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECBは6月と9月に政策金利を0.10%ずつ引き下げ、年0.05%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で米ドル/円相場は円安となる一方、ユーロ/円相場は円高となりました。米ドル/円相場では、前期末比17円25銭円安ドル高の1ドル=120円17銭となりました(前期末比+16.76%上昇)。今期前半は、横ばいで推移した後、先行きの日米金利差の拡大が意識されたことなどを背景に、円安となりました。今期後半は、日銀の追加金融緩和などにより大幅に円安が進行しましたが、その後は米国の利上げ観測を巡り揉み合いながら推移して、今期を終えました。
 ユーロ/円相場は、前期末比11円33銭円高ユーロ安の1ユーロ=130円32銭となりました(前期末比△8.00%下落)。今期前半は、米国の経済指標の改善などから円安となる一方、地政学リスクの高まりなどから円高となるなど、小幅な揉み合いで推移しました。今期後半は、日銀の追加金融緩和やドイツの景況感改善などから、円安が進行した後、スイス・フラン上限撤廃や、ECBの量的金融緩和などを背景に、大幅な円高となり、今期を終えました。

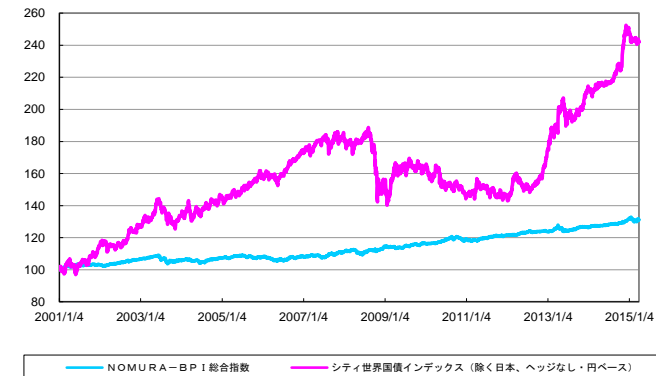
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

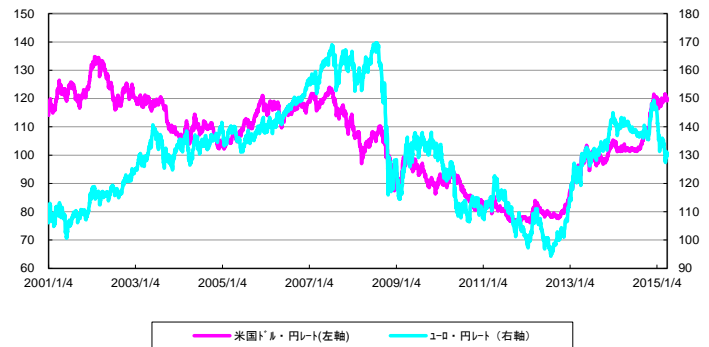


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場提供

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）

株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL：0120-375-193
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定の現況 (2014年度)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用方針および運用状況 [2015年3月末日現在]

| 特別勘定名 | 特別勘定の運用方針 |
|---|--|
| 世界分散型3ODI | 当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。 |
| 利用する投資信託 | 利用する投資信託の運用方針 |
| DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定) | <ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。 |

■特別勘定の運用コメント (2014年4月1日 - 2015年3月末日)

2014年度のユニットプライスの騰落率は+10.45%となりました。

先述の運用環境下、投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指しました。その結果、ほぼベンチマークに連動する収益率となりました。引き続きベンチマークに連動する収益率が得られるよう、ベンチマーク構成比から大きく乖離しないよう各マザーファンドを組み入れます。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| 特別勘定の ユニットプライス | | 騰落率(%) | |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 2015年3月末 | 109.35 | 過去1ヵ月 | ▲ 0.02 |
| 2014年12月末 | 109.23 | 過去3ヵ月 | 0.11 |
| 2014年9月末 | 103.08 | 過去6ヵ月 | 6.08 |
| 2014年6月末 | 100.25 | 過去1年 | 10.45 |
| 2014年3月末 | 99.01 | 過去3年 | 34.21 |
| 2013年12月末 | 99.68 | 設定来 | 9.36 |

・世界分散型3ODIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。

・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

| 項目 | 世界分散型3ODI | |
|---------|------------|-------|
| | 金額(千円) | 比率(%) |
| その他有価証券 | 12,817,534 | 98.8 |
| 現預金・その他 | 150,667 | 1.2 |
| 合計 | 12,968,202 | 100.0 |

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

■特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|-----------|
| 利息配当金収入 | 542,244 |
| 有価証券売却益 | — |
| 有価証券評価益 | 1,121,635 |
| 有価証券償還益 | — |
| 為替差益 | — |
| その他収益 | — |
| 有価証券売却損 | — |
| 有価証券評価損 | — |
| 有価証券償還損 | — |
| 為替差損 | — |
| その他費用及び損失 | — |
| 収支差計 | 1,663,880 |

【募集代理店】取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

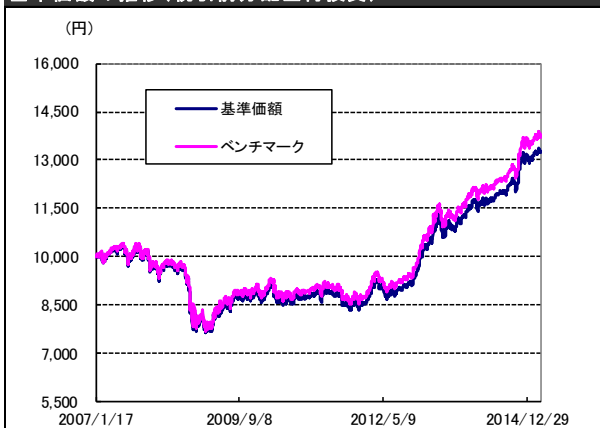
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2014年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2015年3月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額およびベンチマークは設定日(2007年1月18日)の前日を10,000として表示しております。
基準価額は信託報酬控除後です。

当月末基準価額・純資産総額

| | |
|-------|------------|
| 基準価額 | 13,296 円 |
| 純資産総額 | 24,782 百万円 |
| 設定日 | 2007年1月18日 |

ポートフォリオ構成

| | 実質組入比率 | 基本資産配分比率 | 差 |
|------|--------|----------|-------|
| 国内株式 | 9.8% | 10.0% | -0.2% |
| 国内債券 | 29.8% | 30.0% | -0.2% |
| 外国株式 | 20.1% | 20.0% | 0.1% |
| 外国債券 | 38.6% | 40.0% | -1.4% |
| 現金等 | 1.7% | 0.0% | 1.7% |
| 合計 | 100.0% | 100.0% | - |

※計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

騰落率(税引前分配金再投資)

| | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 | 5年 | 設定来 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 当ファンド | 0.17% | 0.70% | 7.38% | 13.16% | 44.18% | 47.29% | 32.96% |
| ベンチマーク | 0.16% | 0.70% | 7.52% | 13.57% | 46.07% | 50.09% | 37.84% |
| 差 | 0.02% | -0.01% | -0.14% | -0.41% | -1.89% | -2.80% | -4.88% |

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

ファンドの特色

| | |
|--------|---|
| 主な投資対象 | 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。 |
| 投資方針 | マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。 |
| ベンチマーク | 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。 |

各資産のベンチマーク

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| 【国内株式】 | 東証株価指数(TOPIX、配当込み) |
| 【国内債券】 | NOMURA-BPI総合 |
| 【外国株式】 | MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み) |
| 【外国債券(為替ヘッジなし)】 | シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) |
| 【外国債券(為替ヘッジあり)】 | シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース) |

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものである基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）

リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債の価格変動と為替変動に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

△ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。
 なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

| 項目 | 費用 | ご負担いただく時期 |
|--------|--|------------------------------------|
| 契約初期費用 | 一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円 | 一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。 |

据置期間中に控除される費用

| 項目 | 費用 | ご負担いただく時期 |
|---------|--|---|
| 保険契約管理費 | 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円 | 毎日、特別勘定の積立金額から控除します。 |
| 運用関係費*1 | 投資信託の純資産額に対して 年率0.324%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約89円 | 特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。 |

年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)

| 項目 | 費用 | ご負担いただく時期 |
|---------|--|---|
| 保険契約管理費 | 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円 | 毎日、特別勘定の積立金額から控除します。 |
| 運用関係費*1 | 投資信託の純資産額に対して 年率0.324%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約89円 | 特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。 |

年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)

※「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

| 項目 | 費用 | ご負担いただく時期 |
|---------|--|----------------------|
| 年金管理費*2 | 年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円 | 年金受取日に、責任準備金から控除します。 |

*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL: 0120-375-193
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/